

**遺伝子組換えカイコによるタンパク質生産技術に関する特許の通常実施権を
 (独) 農業生物資源研究所及び(独) 農業・食品産業技術総合研究機構
 並びに(株) 免疫生物研究所より許諾
 ～ 遺伝子組換えカイコによるタンパク質受託発現サービスを開始 ～**

大関株式会社(社長:西川定良/兵庫県西宮市)と独立行政法人農業生物資源研究所(理事長:廣近洋彦/茨城県つくば市、以下「生物研(NIAS)」)及び独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構(理事長:堀江 武/茨城県つくば市、以下「農研機構(NARO)」)は、生物研及び農研機構が共有している特許「特許第4132760号:カイコ卵へのポリヌクレオチドの効率的導入方法」の通常実施権許諾契約を締結いたしました。また、当社と株式会社免疫生物研究所(社長:清藤 勉/群馬県藤岡市、以下「IBL」)は、IBLが専用実施権を保有している特許「特許第4271122号:カイコでの組換えタンパク質製造のためのポリヌクレオチド」について、再実施許諾契約を締結いたしました。当社では、これら特許技術の導入に伴い、遺伝子組換えカイコによるタンパク質受託発現サービスを開始いたします。

当社総合研究所では、清酒醸造で長年培われたノウハウをもとに、麹菌のバイオテクノロジーに関する研究開発を進め、これまでにユニークなタンパク質発現系の開発に成功し、麹菌によるタンパク質受託発現サービスを展開しています。

この度、麹菌に加え、新たにカイコを用いた組換えタンパク質生産技術を導入することにより、微生物から哺乳類由来タンパク質まで、広範囲の種類のタンパク質の発現に対応することが可能となります。生物研、農研機構、およびIBLでは、上記特許技術を核に遺伝子組換えカイコによるタンパク質生産に関する数多くの技術・ノウハウを有し、既にさまざまな応用展開を進めています。この度の協力体制は、当社および生物研、農研機構、IBLそれぞれの技術発展、事業発展に大きく寄与するものと期待されます。

当社では今後、麹菌およびカイコを用いたタンパク質生産技術の有用性をさらに高め、タンパク質受託発現サービス事業の取り組みを推進し、ライフサイエンス分野に広く貢献することを目指して参ります。

■ご参考

【語句説明】

タンパク質受託発現サービス

ユーザが必要とするタンパク質を遺伝子組換え技術により発現(生産)し納品するサービスのことを言います。ユーザから目的とするタンパク質の遺伝子を預かり、受託元にてその遺伝子を宿主(麹菌やカイコなど)に組み込み、目的タンパク質を発現(生産)させます。一般に、宿主の種類によって発現できるタンパク質の種類や量は異なりますので、複数の宿主を扱うことでサービスの幅を広げることができます。

実施権

「実施権」とは、特許の発明を実施するための権利であり、「実施権を許諾する」とは、特許権を有するものが、他者に対し発明の実施を許可することを言います。実施権には、「専用実施権」と「通常実施権」の2種類があり、専用実施権は、許諾を受けた者だけが独占的に実施できる権利を指し、通常実施権は、独占的ではなく単に実施できる権利のことを指します。

【 当りリリースに関するお問い合わせ先 】

大関株式会社 総合研究所 坊垣・幸田
 〒663-8227 兵庫県西宮市今津出在家町4-9
 Tel : 0798-32-2170 / Fax : 0798-34-7475
 URL <http://www.ozeki.co.jp>